別記様式第2号別紙

令和3年度宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業補助金
（団体名）一般社団法人　みちのさき
（事業名）事業　南三陸町(社協)との協働による心の癒しを通じた地域支え合い事業　**ロジック・モデル**

インプット

事業資金
各種ワークショップ、手仕事事業

(人件費・諸謝金
消耗品・借料等)

人的資源
協働団体
社会福祉協議会

協力
南三陸町
民間団体
地域住民
ボランティア

活動

①心の癒しワークショップを通じた担い手育成事業
・ハーバリウムづくり
・メンズDIYクラブ×2回
・植栽植え付け
・アクセサリーづくり

②安心出来る暮らしの為の心を通じた地域支え合い事業
・ヨーヨーキルトペナントづくり
・安心フラッグづくり
・塗り絵アートづくり

・南三陸町社協との協働
・南三陸町の講師を選出
・地域住民の協力
・継続実施の為担い手育成
・支え合い意識の向上

アウトプット

①心の癒しワークショップを通じた担い手育成事業参加者数
ワークショップ5回実施
各ワークショップ各20名
合計100名参加
※住民要望が多数あり参加者の増加が見込まれる

②安心出来る暮らしの為の心を通じた地域支え合い事業
・支え合い安心フラッグづくり300名
・塗り絵アートづくり100名
・ヨーヨーキルトづくり100名
合計500名
※多くの住民に参加頂く事により支え合い意識が生まれる。

アウトカム

初期

・ワークショップ講師を町内から選出する事で継続的に実施できる。
・ワークショップを通じて心の癒しが持たされる
・ワークショップを通じた新しい仲間が出来る

・地域生活に支え合いの意識が生まれる。
・自宅での手仕事を通じて生活に彩が生まれる
・手仕事を通じて達成感を感じる事が出来る。

中期

・南三陸町の講師を採用する事で町内各地でワークショップが開催される。
・ワークショップを通じて被災者の精神的な自立を促す。
・ワークを通じた新しいコミュニティが出来仲間との一体感が生まれる。

・手仕事への参加者が増加し協力し合い、支え合う習慣が生まれる。
・ペナントづくりを通じて小学校との繋がりが生まれ、塗り絵の展示では住民同士の交流が新たに生まれる。

長期

・ワークショップを通じてこれまでの受け身的な行動が自発的な行動に変化する。
・ワークショップを通じて新たな発見がもたらされ生活の彩が増す。
・住民それぞれが自立し様々な支援を必要としない持続可能な生活を送る事が出来る。

・住民同士協力し合い、支え合う風土が生まれる
・自助・共助・公助のバランスの取れた豊かな町づくりが始まる
・全ての住民が心の復興を実感する。